

理事長・学校長 殿

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
理事長 福田 益和

公印省略

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
平成30年度 中堅教員研修会開催のご案内

平素より本財団事業に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本財団では、専修学校制度発足以来、独自のカリキュラムに基づき「新任教員研修」を実施し、専修学校における新任教員の資質向上に努めて参りました。

また平成24年度より、文部科学省の教育研修活動費補助事業の一環として、「中堅教員研修カリキュラム」の研究・開発を進めております。これは、新任教員研修カリキュラム修了程度の能力を有する方等を対象に、専修学校教育において、後進の指導等を含め、専修学校教育の振興に尽力することが期待される中核的・専門的な役割を担う中堅教員の育成を目的としたものです（カリキュラムの考え方及び構成に関しましては、8・9頁をご参照ください）。これまで支部開催を含め述べ28回、約700人の方にご参加いただき、大変ご好評を頂いております。

今年度は、以下の研修会を東京・主婦会館プラザエフにて開催いたします。

- ①「新任指導力（メンタリング）」
- ②「教員のキャリアデザインワークショップ（これからの専修学校を担う自立型教員育成研修）」
- ③「体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）」
- ④「学級経営・学生対応（学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング）」

つきましては、ご多忙中とは存じますが、万障繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。詳細は実施要項をご参照いただき、参加を希望される方は、同封の受講申込書に必要事項をご記入の上、**7月13日（金）までに**下記へファクシミリにてお申し込みください。（定員になり次第、締め切りとさせていただきます。満席時には、当財団ホームページ上でお知らせいたします。）

【お問い合わせ・お申し込み先】
一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団<略称：TCE財団>
(Association for Technical and Career Education)
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館
TEL：03(3230)4814 FAX：03(3230)2688

平成30年度 中堅教員研修会 実施要項

- 【主 催】 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団）
- 【科 目 名】 ①「新任指導力（メンタリング）」
②「教員のキャリアデザインワークショップ（これからの専修学校を担う自立型教員育成研修）」
③「体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）」
④「学級経営・学生対応（学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング）」
- 【対 象】 専修学校の中堅教職員（目安：勤続5年程度以上）
- 【申込期日】 平成30年7月13日（金）（定員になり次第、締め切りとさせていただきます。満席時には、当財団ホームページ上でお知らせいたします。）

① 「新任指導力（メンタリング）」

【内容・目的】

新任指導能力「新任教職員の指導・育成功」を高めることを目標とする。中堅教員（管理職）にとっての役割とは何かを知り、新任（部下）の指導育成のための目標管理や新任（部下）の能力を引き出すための適切な指導助言ができるようになることを目指します。

具体的には、新任指導育成のための目標管理力／新任の能力を引き出すためのメンタリング力をつけることを目指します。

事前課題として、現在もしくは過去において「新任（部下）教職員の指導・育成」などで苦勞した事例を記入するシートがあります。

【定 員】 36名

【日 時】

科目・時間数	日 時
新任指導力（計12時間）	平成30年7月26日（木）13:00～18:00
	27日（金）9:00～17:00
	※2日目 12:00～13:00 は昼休み

【受講料】

科 目	TCE財団の都道府県支部の会員校	左記以外
新任指導力	1名 13,500円	1名 27,000円

② 「教員のキャリアデザインワークショップ（これからの専修学校を担う自立型教員育成研修）」

【内容・目的】

3日間に渡り教員自らが自分自身と向き合い、受講者同士の対話を通して新たな気づきを得ることで、内発的動機となる意義を探索します。自らの未来を予測し、キャリアビジョンを持ち、生き活きと働くために行動計画を立てることを目的とした研修です。自己理解を深め、他者や組織と共生しながら自分の持ち味を發揮し、生き活きと生き、働いていくために自分のキャリア（仕事人生）をじっくり見つめることで学校や学生に望まれる中堅教員としての活力が生まれることを目指します。

事前課題として、職務の棚卸しシートを記入していただきます。

【定 員】 36名

【日 時】

科目・時間数	日 時
教員のキャリアデザイン ワークショップ (計 24 時間)	平成 30 年 8 月 20 日 (月) 11:00～21:00
	21 日 (火) 9:00～18:00
	22 日 (水) 9:00～17:00
	※初日 19:00～21:00 は情報交換会 ※12:00～13:00 は昼休み

【受講料】

科 目	TCE財団の都道府県支部の会員校	左記以外
教員のキャリアデザイン ワークショップ	1名 35,000円 (情報交換会費用5,000円を含む)	1名 65,000円 (情報交換会費用5,000円を含む)

③ 「体系的カリキュラム・シラバス作成 (インストラクショナル・デザイン)」

【内容・目的】

より学生に分かりやすく効率的に学べるカリキュラム・シラバスを作成する手法としてインストラクショナル・デザイン (ID) があります。この ID とは何かを学び、これを用いてカリキュラム・シラバスを設計・開発できるようになるのが本科目の目標です。

事前課題として、「授業設計マニュアル Ver. 2: 教師のためのインストラクショナルデザイン」(北大路書房)をお読みください。(研修会はこちらの教材に沿って進めます。ご購入いただく教材につきましても、受講確定後のメールによる事務連絡にて改めてご連絡いたします。)

【定 員】 30名

【日 時】

科目・時間数	日 時
体系的カリキュラム・シラバス作成 (計 12 時間)	平成 30 年 8 月 27 日 (月) 13:00～18:00
	28 日 (火) 9:00～17:00
	※2 日目 12:00～13:00 は昼休み

【受講料】

科 目	TCE財団の都道府県支部の会員校	左記以外
体系的カリキュラム・シラバス作成	1名 13,500円	1名 27,000円

④ 「学級経営・学生対応 (学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング)」

【内容・目的】

これまでの教科担当、クラス指導の経験を振り返り、自分の強みと弱みを再確認し、今後学校の中核として業務を遂行できる人材になることを目標とします。そのため学生に対する「全体指導」「個別指導」の手法を棚卸しして、学生への効果的な動機付けの手法や、所属する学科の運営方法を学びます。

具体的には、小学校・中学校・高等学校の各学校現場で、クラス運営を効果的に行うための手法の一つとして「Q-Uアセスメント」というものが活用されています。Q-Uは、教員が「①生徒個々の実態」「②学級集団の状態」「③個人と学級集団との関係」を十分に把握し、実態に応じた教育活動が展開できるように、その一助となることを目指したものです。

近年、このQ-Uの専門学校版が開発され、実際に専門学校の現場でクラス運営の改善等に活用され、学生の「対人関係形成能力」や「社会形成能力」を育成する上で教育効果を上げている事例もあります。本研修科目では、Q-Uの意義や理論、そして実践方法を学び、学生に対する教員個々の指導力を向上させるとともに、校内での教員間の連携を強化し、より効果的なクラス・学科運営が行えるようになることをねらいとします。

【定員】 30名

【日時】

科目・時間数	日時
学級経営・学生対応 (計12時間)	平成30年8月30日(木) 13:00~18:00
	31日(金) 9:00~17:00
	※2日目 12:00~13:00 は昼休み

【受講料】

科目	TCE財団の都道府県支部の会員校	左記以外
学級経営・学生対応	1名 13,500円	1名 27,000円

全科目共通

【会場】 東京・主婦会館プラザエフ
東京都千代田区六番町15 電話03-3265-8111
[\(http://plaza-f.or.jp/\)](http://plaza-f.or.jp/)

【申込方法】 別紙の「受講申込書」に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。
⇒FAX: 03 (3230) 2688

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 (TCE財団) 事務局 総務課宛

【受講料】

- ※ 交通費・宿泊費は含みませんので、各自でご手配ください。
- ※ お申込みと同時に下記口座にお振込みください。研修会当日の現金の受け渡しはご容赦ください。
- ※ 受講料の返金は致しかねます。ご欠席の場合は代理の方のご出席をお願いします。

<p>みずほ銀行 九段支店 (普通) 2386904 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 (振込手数料は貴校にてご負担ください)</p>

【修了基準】

『新任指導力』(12時間)、『教員のキャリアデザインワークショップ』(24時間)、『体系的カリキュラム・シラバス作成』(12時間)、『学級経営・学生対応』(12時間)それぞれについて、各科目所定の研修時間を全て受講された方につきましては、本財団より「修了証」を発行いたします。部分参加、途中退席、日程途中からの参加者変更はご遠慮ください。

※詳細につきましては、一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団ホームページをご確認ください。

【タイムテーブル】

①「新任指導力（メンタリング）」

◆日時：平成30年7月26日（木）13：00～18：00
27日（金）9：00～17：00
(初日18：00より研修交流会を開催いたします。ご参加は任意です。)
(2日目の昼休みは1時間とします。昼食は各自でお取りください。)

◆講師：オフィスfem. 代表
梅野 文子 氏
キャリアサポートOfficeAOKI 代表
青木 慶子 氏

予定時間	予定内容
(初日) 12：45 13：00	受付 初日開講 “講義+演習+グループワーク+振り返り”の流れで進行します。 ○「新任指導力・メンタリングとは？」 ○「メンタリング技術」 (質問の技術、傾聴の技術、観察の技術、伝達の技術)
18：00 (2日目) 9：00	初日終了 2日目再開 ○「総合実践演習」 ○「ディスカッション・質疑応答」 ○まとめ
17：00	閉会

②「教員のキャリアデザインワークショップ」

◆日時：平成30年8月20日（月）11：00～21：00
21日（火）9：00～18：00
22日（水）9：00～17：00
(初日19：00より情報交換会を開催いたします。研修時間に含みます。)
(昼休みは1時間とします。昼食は各自でお取りください。)

◆講師：キャリアサポートOfficeAOKI 代表
青木 慶子 氏
長野県公衆衛生専門学校 教授
上浦 環 氏

予定時間	予定内容
(初日) 10：45 11：00	受付 初日開講 “講義+演習+グループワーク+振り返り”の流れで進行します。 ○「キャリアとは？」 ○「キャリアデザインについて」 ○「中堅教員の立場と役割」
19：00 21：00	情報交換会 初日終了

(2日目) 9:00	2日目再開 ○「自己のキャリアの棚卸し」 ○「自己理解について」 ○「自分のできることとやる気の根っこ」 ○「キャリアビジョンシートについて」
18:00 (3日目) 9:00	2日目終了 3日目再開 ○「当事者意識と被害者意識について」 ○「環境分析について」 ○「これからの自分を考える」 ○今後のキャリアビジョンと具体的な行動プランの考察・発表
17:00	閉会

③「体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）」

◆日時	平成30年8月27日（月） 13:00～18:00 28日（火） 9:00～17:00 (初日18:00より研修交流会を開催いたします。ご参加は任意です。) (2日目の昼休みは1時間とします。昼食は各自でお取りください。)
◆講師	株式会社ウチダ人材開発センタ 事業推進 ラーニング推進部インストラクション課 担当課長 日暮 薫 氏

予定時間	予定内容
(初日) 12:45 13:00	受付 初日開講 “講義+演習+グループワーク+振り返り”の流れで進行します。 ○「オリエンテーション」 ○「インストラクショナルデザインの概要と必要性」 ○「学習目標の明確化」 ○「課題分析」 ○「シラバスの作成」 ○「コマシラバス（授業計画）の作成」
18:00 (2日目) 9:00	初日終了 2日目再開 ○「成果物のディスカッション」 ○「講師からのフィードバック」 ○まとめ・質疑応答
17:00	閉会

④「学級経営・学生対応（学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング）」

◆日時：平成30年8月30日（木）13:00～18:00
 31日（金）9:00～17:00
 （初日18:00より研修交流会を開催いたします。ご参加は任意です。）
 （2日目の昼休みは1時間とします。昼食は各自でお取りください。）

◆講師：都留文科大学 非常勤講師
 品田 笑子 氏
 会津大学 文化研究センター 教授
 荏間澤 勇人 氏

予定時間	予定内容
(初日) 12:45 13:00	受付 初日開講 ○オリエンテーション ○「学級経営の基礎基本」 ○「体系的な手法を活かした学級経営～Q-Uを使った学級づくり～」 ○「学級経営に活かすソーシャルスキルトレーニング」 ○シェアリング
18:00 (2日目)	初日終了
9:00	2日目再開 ○「学級経営と個別面接～Q-Uの活用～」 ○「学級経営に活かすSGE～構成的グループエンカウンター～」 ○まとめ
17:00	アンケート記入 閉会

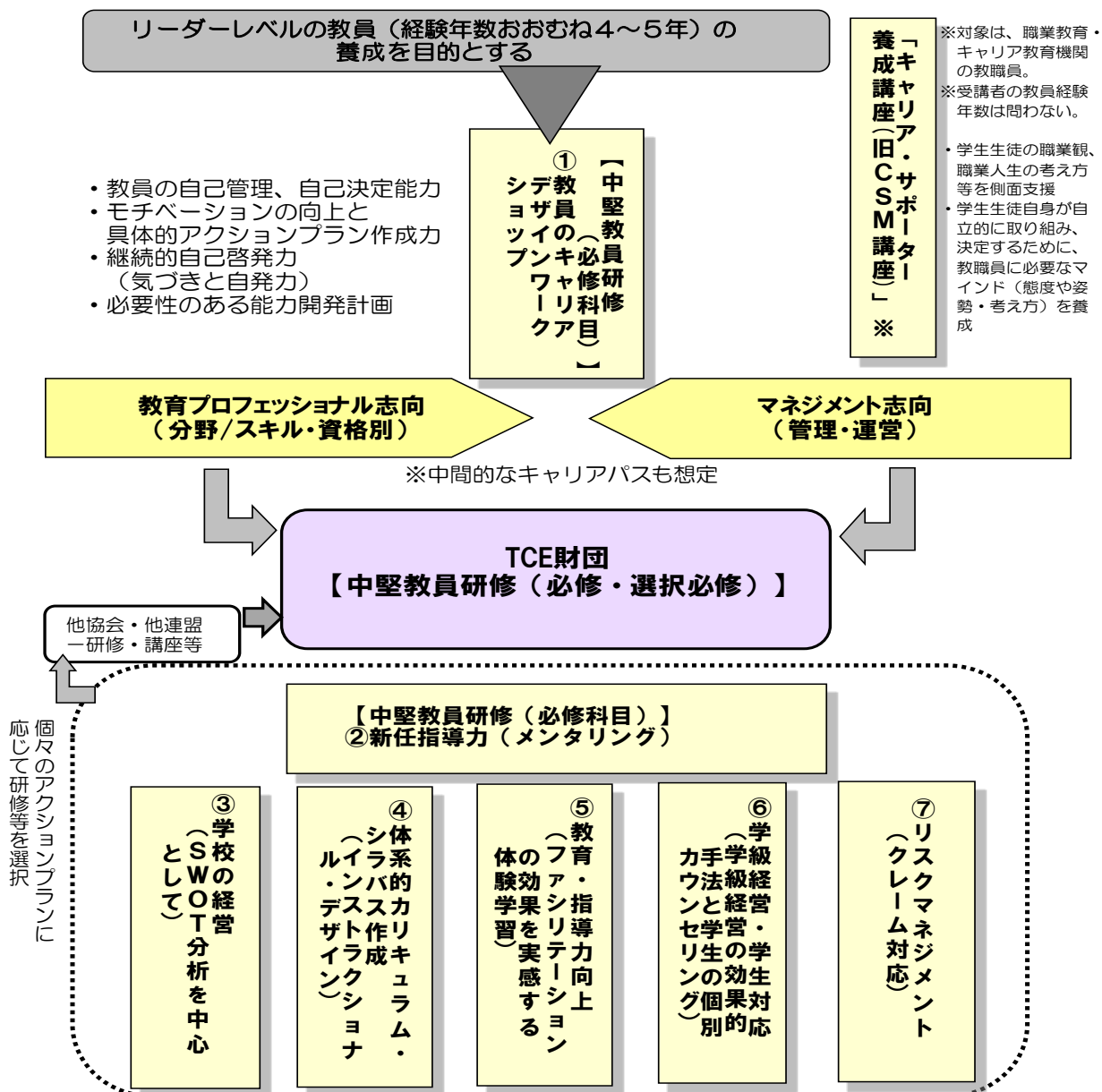
※事情により変更となる場合があります。変更時には当財団ホームページでその旨をお知らせします。

※全日の研修内容の受講をお願いいたします。

※「新任指導力」「体系的カリキュラム・シラバス作成」「学級経営・学生対応」について、初日終了後に研修交流会を開催いたします。研修交流会では様々な学校や分野の方と交流を図ることができます。意見交換を行う貴重な場であり、親交を深めることで翌日の研修も一層充実したものとなりますので、ぜひご参加ください。研修交流会費用は3,000円とさせていただきます。参加をご希望の方は受講料と共にお振込ください。情報交換会・研修交流会は別会場で行います。「キャリアデザインワークショップ」情報交換会（必須）の費用は受講料に含まれます。

1. 考え方と構成

- (1) 中堅教員研修は、「①教員のキャリアデザインワークショップ (必修科目)」をベースとして、キャリアビジョン及び自ら作成するアクションプランに基づくコアとなる研修科目②～⑦ (必修=②・選択必修=③～⑦) を用意。
- (2) ①～⑦の7科目以外に、他の団体・組織主催の研修を含め、各教員のキャリア・就業年数等に応じた研修の受講 (継続的能力開発) を奨励する。



学校法人や都道府県協会等の主催による「中堅教員研修会」を実施することができます。
詳しくは当財団事務局までお問合せください。

[お問い合わせ]

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 事務局
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館
TEL : 03(3230)4814 FAX : 03(3230)2688

2. 科目一覧

	科目名	時間	・＜キャリアパス＞ ・研修の概要と目標
①	教員のキャリアデザインワークショップ	24	＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向、マネジメント志向＞ 3日間に渡り教員自らが自分自身と向き合い、受講者同士の対話を通して新たな気づきを得ることで、内発的動機となる意義を探索する。自らの未来を予測し、キャリアビジョンを持ち、生き活きと働くために行動計画を立てることを目的とする。自己理解を深め、他者や組織と共生しながら自分の持ち味を発揮し、生き活きと生き、働いていくために自分のキャリア（仕事人生）をじっくり見つめることで学校や生徒に望まれる中堅教員としての活力が生まれることを目指す。
②	新任指導力（メンタリング）	12	＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向、マネジメント志向＞ 新任指導能力「新任教職員の指導・育成力を高める」ことを目標とする。中堅教員にとっての役割とは何かを知り、新任（部下）の指導育成のための目標管理や新任（部下）の能力を引き出すための適切な指導助言ができるようになることを目指す。 具体的には、新任指導育成のための目標管理能力/メンタリング力をつけることを目指す。
③	学校の経営（SWOT分析を中心として）	12	＜キャリアパス：マネジメント志向＞ 専修学校は、そのほとんどが設置主体は学校法人であり、主たる収入は、学生生徒等納付金収入によるところが多い。また我が国の経済の長期低迷動向を受けて実学志向、また資格志向により、専門職業人育成の社会的要請は高く、また、大学等の学校種間・学校間競争は今なお厳しい状況にある。その中で各種統計データを待つまでもなく、2018年度以降更なる18歳人口が減少するという厳しい環境がある。この状況下で、中堅教員がいかんが学校経営に参画するのかが、今大きく問われている。更にコンプライアンスや内部統制組織の充実の要請、自己点検評価の実質化、学校関係者評価の実質運営、教育課程編成についての外部有識者からのヒアリング実施とその反映、第三者評価の実施等、学内外の経営にかかわる諸問題について対応力を高め、中堅教員としてふさわしい経営感覚と問題解決能力を身に付け実践能力を高めることの重要性が叫ばれて久しい。本科目を受講することにより、学校経営の概観を把握でき、優れた「経営感覚」を身につけることを目指す。
④	体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）	12	＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向＞ より学生に分かりやすく効率的に学べるカリキュラム・シラバスを作成する手法としてインストラクショナル・デザイン（ID）がある。このIDとは何かを学び、これを用いてカリキュラム・シラバスを設計・開発できるようにするのが本科目の目標である。
⑤	教育・指導力向上（ファシリテーションの効果を実感する体験学習）	12	＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向＞ ファシリテーションは、「容易にする」「円滑にする」「スムーズに運ばせる」という原意が示すとおり、問題解決や合意形成を促進する技術としてアメリカから紹介された。主に体験学習やワークショップなどのグループ活動に適用する手法であり、話し合いを促進する、メンバーの相乗効果を発揮する、自律性を育むなどの効果が期待できる。その応用範囲は多岐にわたるが、教育現場の適用事例も数多く報告されている。 ①ファシリテーションによる授業の活性化について、ファシリテーションを導入する理由、その方法・効果を説明できること ②ファシリテーターに必要な知識・スキル・マインドを説明できること ③上記①②の講義、実践で得た知識・スキルを活用して、授業の中で取り入れ効果を測ることを目標として実施する。
⑥	学級経営・学生対応（学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング）	12	＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向、マネジメント志向＞ これまでの教科担当、クラス指導の経験を振り返り、自分の強みと弱みを再確認し、今後学校の中核として業務を遂行できる人材になることを目標とする。 そのために学生に対する「全体指導」「個別指導」の手法を棚卸しして、学生への効果的な動機付けの手法や、所属する学科の運営方法を学ぶ。 具体的には、小学校・中学校・高等学校の各学校現場で、クラス運営を効果的に行うための手法の一つとして「Q-Uアセスメント」というものが活用されている。Q-Uは、教員が「①生徒個々の実態」「②学級集団の状態」「③個人と学級集団との関係」を十分に把握し、実態に応じた教育活動が展開できるように、その一助となることを目指したものである。 近年、このQ-Uの専門学校版が開発され、実際に専門学校の現場でクラス運営の改善等に活用され、学生の「対人関係形成能力」や「社会形成能力」を育成する上で教育効果を上げている事例もある。本研修科目では、Q-Uの意義や理論、そして実践方法を学び、学生に対する教員個々の指導力を向上させるとともに、校内での教員間の連携を強化し、より効果的なクラス・学科運営が行えるようになることをねらいとする。
⑦	リスクマネジメント（クレーム対応）	6	＜キャリアパス：マネジメント志向＞ 中堅教員として、リスクマネジメントに関することは、学校経営の根本的な問題のみならず、日々の運営の中で諸問題に適切に対応し、解決を図る上で強く要請されている。また、クレーム対応には、原理・原則があり、それを踏まえて行動すれば難しいものではない（その中でも最も重要なのは「顧客（学生・ステークホルダー）の心情を理解してふるまう」ことである）。 本科目の受講者は、クレームの基本概念を理解し、過去の代表的な事例からクレーム対応の手順や留意点を知る事で、専修学校におけるクレームの諸問題に対応力を高め、中堅教員としてふさわしい問題解決能力を身に付けることを目標とする。 また、組織によるクレーム対応についても学ぶことにより、自組織のCS（顧客満足度）改善計画や企画策定など、リスクマネジメントについての理解を深めることも目標とする。
	計	90	

全7科目受講された方への研修成果のインタビュー

中堅教員研修会全7科目を修了された4名に対し研修成果のインタビューを行った。
(4名のプロフィール概要は以下のとおり。)

修了者	学校分野	性別	年齢	学校勤続年数
A	商業実務	男	48	3年
B	医療	男	43	7年
C	医療	女	38	10年
D	医療	男	38	7年

～気づきと行動変化はありましたか？～

- 学校全体のことや若手職員の育成という点について、受講前よりも意識して行動するようになりました。特に「考えるだけでなく行動する」ということをモットーにし、若手職員のお手本となることはもちろんですが、ベテラン職員の方々からも信頼されるように行動しています。
- 教員としての職務（教育）だけでなく、教員としてどのようなキャリアを歩んでいくかを考える契機となりました。また、自身が与えられた職務をどのような考えで進めて行くかを多元的に考えられるようになりました。
- まず、授業内のグループワークや、個人で参加する研修においては「ファシリテーション」を意識します。また、受講させていただきました「インストラクショナルデザイン」は、次年度のシラバス提出時に生かして見直しを考えております。また、私は防火管理者であることもあり、「リスクマネジメント」について意識することも、同僚に伝える機会も多いように感じます。その他の教科につきましても、テキストを見直したり、用語の確認を行ったりする機会があります。意識面では「キャリアデザインワークショップ」で感じた自身の決意を思い起こすこともあり、貴重な機会であったと認識しております。
- 教職員の面談の際に、今まで以上に「質問・傾聴・観察・伝達」を意識して行うようになりました。また、質問や伝達といったこちらから発する内容も本研修で学んだものから相談内容に適したものを抽出するように努めています。相手の立場を考慮した上で発言し、相手に答えを導き出させるような対応を自然にできるようになってきたと思っています。仕事全体の視野が広がり、専門学校の教職員としての在り方が見えてきました。

～今後、中堅教員研修会を受講される方へのメッセージ～

- 様々な専門学校の先生方と交流することで、悩みを共有したり解決の糸口を見出すことができたり、それだけでも研修に参加して良かったと思うことができます。壁にぶつかって悩んでいる方やスキルアップを目指す方にはとてもすばらしいプログラムになっていると思います。ぜひ全てのプログラムのコンプリートを目指して頑張ってください。
- 中堅教員研修は間違いなく大きな収穫を得られる講座となります。一つ一つを大切に受講されることで確実に成長していけると思います。
- 全ての研修を受講して思うことは、どの専門学校でも抱える問題点・課題点を冷静に振り返り分析できる機会をいただけたのだなということです。研修は元より他校の先生方と利害関係なく率直に意見や情報の交換ができたことも大変有意義でした。

別表一覧 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団）の支部

	都道府県名	名 称	電話番号
1	北海道	公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会	011.242.1955
2	青森	青森県専修学校各種学校連合会	017.728.0145
3	岩手	一般社団法人岩手県専修学校各種学校連合会	019.624.8600
4	宮城	一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会	022.211.7157
5	秋田	秋田県専修学校各種学校協会	018.832.5437
6	山形	一般社団法人山形県専修学校各種学校協会	023.641.2323
7	福島	一般社団法人福島県専修学校各種学校連合会	024.934.8833
8	茨城	一般社団法人茨城県専修学校各種学校連合会	029.221.8771
9	栃木	一般社団法人栃木県専修学校各種学校連合会	0282.29.3056
10	群馬	一般社団法人群馬県専修学校各種学校連合会	027.255.6861
11	埼玉	一般社団法人埼玉県専修学校各種学校協会	048.865.2195
12	千葉	一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会	043.243.3147
13	東京	公益社団法人東京都専修学校各種学校協会	03.3378.9601
14	神奈川	一般社団法人神奈川県専修学校各種学校協会	045.312.2221
15	新潟	一般社団法人新潟県専修学校各種学校協会	025.222.8798
16	富山	一般社団法人富山県専修学校各種学校連合会	076.442.1858
17	石川	一般社団法人石川県専修学校各種学校連合会	076.264.3991
18	福井	一般社団法人福井県専修学校各種学校連合会	0776.27.2024
19	山梨	一般社団法人山梨県専修学校各種学校協会	055.235.8861
20	長野	一般社団法人長野県専修学校各種学校連合会	026.235.3353
21	岐阜	岐阜県専修学校各種学校連合会	058.271.5076
22	静岡	公益社団法人静岡県職業教育振興会	054.251.2335
23	愛知	一般社団法人愛知県専修学校各種学校連合会	052.957.1392
24	三重	三重県専修学校協会	059.229.4070
25	滋賀	滋賀県専修学校各種学校連合会	077.525.4572
26	京都	一般社団法人京都市専修学校各種学校協会	075.344.2330
27	大阪	一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会	06.6352.0048
28	兵庫	公益社団法人兵庫県専修学校各種学校連合会	078.391.7010
29	奈良	奈良県専修学校各種学校連合会	0742.93.5670
30	和歌山	一般社団法人和歌山県専修学校各種学校協会	073.423.9770
31	鳥取	一般社団法人鳥取県私立学校協会専修学校各種学校部会	0857.29.4266
32	島根	一般社団法人島根県専修・各種学校連盟	0852.23.5548
33	岡山	一般社団法人岡山県専修学校各種学校振興会	086.226.7198
34	広島	公益社団法人広島県専修学校各種学校連盟	082.227.8210
35	山口	一般社団法人山口県専修学校各種学校協会	083.924.0239
36	徳島	一般社団法人徳島県専修学校各種学校連合会	088.652.5899
37	香川	一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会	087.822.3001
38	愛媛	一般社団法人愛媛県専修学校各種学校連合会	089.935.4510
39	高知	一般社団法人高知県専修学校各種学校連合会	088.850.0200
40	福岡	一般社団法人福岡県専修学校各種学校協会	092.292.6104
41	佐賀	佐賀県専修学校各種学校連合会	0952.26.8311
42	長崎	一般社団法人長崎県専修学校各種学校連合会	095.844.1378
43	熊本	一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会	096.372.6444
44	大分	一般社団法人大分県専修学校各種学校連合会	097.537.2471
45	宮崎	一般社団法人宮崎県専修学校各種学校連合会	0985.29.5288
46	鹿児島	一般社団法人鹿児島県専修学校協会	099.213.9110
47	沖縄	一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会	098.858.7070

平成30年度 中堅教員研修会 受講申込書

平成 年 月 日 <申込期限：7月13日(金)>

都道府県名 _____ 学 校 名 _____

受講申込者 ふりがな 氏 名 _____

部署・役職名 _____

性別： _____ / 年齢： _____ 歳 / 生年月日： _____ 年 月 日

専修学校教員勤続年数： _____ 年 月 企業・施設等での実務経験年数： _____ 年 月
※勤続年数は「常勤・非常勤」又は「専任・兼任」の期間の通算をご記入下さい。 ※実務経験年数は教員採用後の短期的な実務研修期間も合算してご記入下さい。

e-mail _____ @ _____ TEL _____ — —

受 講 料 該当されるものについて、にチェックをお付けください。

受講科目	T C E 財団都道府県支部の会員校	左記以外	研修交流会
新任指導力	<input type="checkbox"/> 7/26~27 13,500円	<input type="checkbox"/> 27,000円	<input type="checkbox"/> 3,000円
教員のキャリアデザイン ワークショップ	<input type="checkbox"/> 8/20~22 35,000円	<input type="checkbox"/> 65,000円	(受講料に含まれます。)
体系的カリキュラム・ シラバス作成	<input type="checkbox"/> 8/27~28 13,500円	<input type="checkbox"/> 27,000円	<input type="checkbox"/> 3,000円
学級経営・学生対応	<input type="checkbox"/> 8/30~31 13,500円	<input type="checkbox"/> 27,000円	<input type="checkbox"/> 3,000円

※受講料はお申込みの学校名にてお振込ください。法人名にてお振込の場合は、下記に法人名をご記入ください。
(学校法人名： _____)

振込予定日 平成 年 月 日

ご利用銀行 _____ 銀行 _____ 本・支店より
(振込手数料は貴校にてご負担ください)

※ご提供いただいた個人情報は、研修開催前後の事務連絡、研修に時のグループ分けの為に利用させていただきます。
※講師・受講者・事務局・オブザーバーに配布する「受講者名簿」に都道府県名・氏名・学校名のみ掲載させていただきますので、ご了承ください。

【お申込先】 (送付状は不要です。本紙のみお送りください。)
一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 事務局 総務課

FAX : 03 (3230) 2688

学校法人や都道府県協会等の主催による、中堅教員研修会を実施することができます。詳しくは当財団事務局までお問合せください。

※ 申込書はホームページからもダウンロードできます。
※ 複数名のお申し込みをされる場合にはコピーしてお使いください。